

# らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ



● 常木らくだ ●

それほど需要もないと思いますが、月初めなので、一応パブ版を紹介しておきます。

らくだ図書館（17）【5月分】

<http://p.booklog.jp/book/72341>

恥ずかしげもなく、17か月達成ですよ！

このブログは小説投稿ブログであり、継続期間は「デビューできなかった期間」でもあるので、あまり名譽なことではないんですが……。

まあしかし、反面教師と呼ばれるのもイヤではないので、今後もしぶとく続けていこうと思います。

さてさて。

執筆と並行して読み進めていた、資料本の1冊目を読了しました。

しかし、来週には2冊目が届くので、次はそれを読まないといけません。

でも今回思ったんですが、資料って、ありがたい存在ですね。

読むのは大変ですが、資料を読めば読むほど、書くのがラクになる。

もちろん説明の丸写しをするわけではないですが、大きい柱が1本あると、それに寄って書けるから執筆中に安心感があります。

逆に言うと、大きな柱のない日常系の学園ラブコメは、キャラのやり取りで読ませるしかないから、実際はものすごく難しいのかもしれない。

まあとにかく、カメのような低スピードですが、締切りはまだ遙か先なので、焦らずちょっとずつ頑張ろうと思います。

書きかけ原稿の読み直しに、キンドルが役立ちまくり！  
宣伝じゃないけど、買ってよかった！

逆にポメラは、数回使ったっきり、引出しの中へ。  
外出時はともかく、家で使うメリットが、特に感じられないです。

テキストファイルを扱えるから、書きかけの文章を直接編集できて便利かなーと思ったんですが、キーボードの感触にどうしても馴染めなく……。

これならキンドルで読み直して、変えたい箇所を手書きでメモしていく方が、作業効率がだいぶ上なような気がします。

ポメラもたぶん、上位機種を買えば、もっと使いやすいんだと思いますが。  
自分のはDM5なので、あくまでメモ帳代わりに、補助的に使おうと思います。

あと、繰り返しになりますが、キンドルの役立ち感がスゴイ。

自分の執筆ソフトはWordなので、書き終わってパソコンを閉じる前に、原稿をそのままキンドルに送信。

受信は一瞬で終わるので、ベッドに入って、その日書いた部分を読み直し。

みたいなことができて、とてもありがたいです。  
さっき知ったんですが、下寄せした文章もちゃんと反映されていて、感動しました。

不満点といえば、前にも書きましたが、ルビ付きの単語が消される部分だけですね。

とにかくそういうわけで、蛍光マーカーやキンドルを活用しつつ、文章チェックを進めていこうと思います！

早くも6月になりました。

梅雨になると持病が悪化する、という方も、おそらく多いことでしょう。

自分の場合、肩が痛いです。

左腕が肩より上にあがらず、あげようとする、ピキーン！と痛くなるんです。

で、症状で検索してみたら、「五十肩」がヒットしました（爆）

ちょっと待てー！

確かに昭和生まれだけど、五十にはまだ遠いぞ！？

しかし、「身体は正直」と言いますし、今まで数え間違っていただけで、本当はもうじき五十なのかも？

とまあ、そんな最近です。

仕方あるまい……。

次大きい本屋へ行ったら、資料本を探すと同時に、五十肩の本を購入するか……。

あとそういえば、五十肩に悩む前の会社の先輩が、「電気風呂が治療に効く」と言っていました。

電気風呂は一種の拷問だと思いますが、五十肩に効くなら試してみたいですね。

でも、電気風呂って最近は見かけませんが、今でも銭湯にあるんでしょうか？

そういうわけで、五十肩の話しかしていませんが、今日は以上です。

梅雨明けと同時に治ればいいんですが、もし治らなかったら、電気風呂を探す旅に出ようと思います。

本日、2冊目の資料本が届きました。

イラストたっぷりで、説明もわかりやすく、ちょっと高いけどその価値はある、なかなか素晴らしい良書でした。

しかし、その本！  
自分の調べたかった項目が、まったく載っていなかった！

ダメじゃん——！！

トホホ……。  
本はやっぱり、ネットで買わずに、本屋で手に取って買うべきですね……。

でもいい本だったことは確かなので、執筆の資料ではなく、普通の読書用に読もうと思います。

あと思ったのは、イラストの力って、すごいなーと。

イラストといっても、絵じゃなくて図式みたいな感じですが、文章だけで説明されるのと伝わりやすさが全然違うと思いました。

百聞は一見にしかず、ですね。

しかし、文章書きである私たちは、一見に負けない百聞を模索しているわけで、イラストの便利さに頼りすぎちゃいけないと思いました。

ってか、イラスト1枚で伝わる内容を、100文書いて説明している私たちは、もんのすっごく大変なんだよ！？

と、誰にともなく力説しつつ、今日のブログは以上です。  
一見に負けるなー！

瞬間的にテンションがもっさりと下がって、ポテトチップス（大）をヤケ食いしよう、でも健康に悪いよなぁーと袋を見ていたら、賞味期限が1週間ほど切れていて、思わずニヤリとした常木らくだです。

はっはっは！

賞味期限が切れているなら、1日も早く食うしかあるまい！

で、きれいに完食。

弁解の余地を手に入れると、人は強気になれるようです。

しかし、胃があぁぁー！

体重は正直あまり気にしてないけど、深夜のガツ食いは翌日の胃に影響しますね。

あと、深夜のアルコールも。

胃がもっと強かったら、毎晩ポテトとウォッカなのにと、そんなことを考えた夜中でした。

あと話は飛びますが、ロシアではウォッカを一気飲みした後、グラスを床に投げて叩き割るのが礼儀だそうです。

すごい礼儀だ！

ロシア料理店で働いていた知人に聞いたのですが、ロシア人が食べに来ると、次々とグラスを割りまくって大変だったらしいです。

そういうワイルドなロシア人に比べたら、夜中にポテトチップスを食べるくらい、全然かわいいもんだよね！

という結論に落ち着き、自分を励ましたところで、今日のブログは以上です。

来週末に開催される日本語検定と、語彙・読解力検定の受検票が届きました。

うわー。  
勉強しなきゃー。

どっちも受検番号が1ケタなので、受検者数が気になるところですが、とにかく頑張ろうと思います。

日本語の方は、噂のディオス。  
語彙の方の会場は、お馴染の関大でした。

しかし……。  
関大のあの広さは、何なのでしょう……。

前回の検定を受けた時、建物がわからなくてウロウロしていたら、通行人に「フランス語検定の会場はどこですか？」と聞かれ、その後違う人に「料理検定の会場はどこですか？」と聞かれました。

迷子続出！  
っていうか、フランス語はともかく、料理検定って何なんだ！

とにかく、執筆は一時中断して、来週は勉強に励もうと思います。

語学の資格を取ったからといって、すぐさま文章力がアップするわけでもないですが、取ってマイナスになることはきっとないはず。

いつか、最高の作品を書くために。  
力を出し惜しみせず、できる努力は全部する。

そんな信条を胸に秘めつつ、今日のブログは以上です！

## 総数発表！！ - 2013.06.07 Fri

---

電撃の総数発表が、来週に迫っています。

と思いつつ、HPをチェックしたら、すでに来てるじゃないですかー！

応募総数 : 7523本 (6771本)

小説部門 : 6554本 (6078本)

長編 : 4576本 (4069本)

短編 : 1978本 (2009本)

カッコ内は前回ですが、やはり伸びましたね。

短編が微減した以外、着実に増えています。

それにしても、落ちた時の予防線じゃないですが、今回は5年間やってきた中で一番自信がない回になりました。

完成直後はそこそこ満足していたけれど、今はその作品の悪かった部分が明確にわかるので、あんまり『バンジョーニ いけえー！』みたいに応援できないというか。

そもそも新作の執筆開始が、3月下旬というあり得なさ。

執筆していた期間も、2週間という短さ。

まあでも、祭りは楽しむぜ！

5年前は一人っきりで投稿していましたが、今は面識のある投稿者さんがたくさんいるので、自分が落ちても「ぐはあ、この先はお前に任せた……！」みたいな楽しみ方ができますからね。

とにかく、冬以降ずっと発表に飢えているので、F5連打の腕を磨きつつ更新に備えようと思います。

というわけで、残り1か月。

今から頑張ることはできませんが、結果を信じて、ワクワクドキドキ待ちましょう！

縦書きの文章を書く時は、数字ではなく、漢数字を使いましょう。

と小学校で習った記憶があるんですが、小説を書いている時に漢数字を使うと、逆に不自然なことってありませんか？

特に今書いている作品は、金額が頻繁に出てくるので、ものすごいストレスです。  
「九百八十九円」とか、「六千三百五十四円」とか、わかりにくすぎて死にそうです。

かといって、単位を抜かして「九八九円」とか「六三五四円」とか書くと、もう何の話題かわからないし……。

というわけで、諦めて数字を使って、「989円」「6354円」。  
でもそうすると、ケタ数が大きい時に、また逆に困るんですね。

「360295円」とか書くと、パッと見ても金額がわからないから、中途半端に漢字を使って「36万295円」。

ん、待てよ？

金額が数字なら、年齢や学年表記も、数字に変えた方がいいのかな？

それなら「雲一つない空」や、「隠し事の一つや二つ」の部分も、数字に統一するべき？

と考えているうちに、頭が痛くなってきて、Wordを閉じてしまいました。

うーん……。

どうしたもんか……。

ちゃんと統一ルールを作らないと気持ち悪いんですが、たぶんそういうのを気にするのは書き手であって、純粋な読者さんはそこまで気にしない部分だと思うので、あまり深く考えずに見やすさ優先で書いていこうと思います。

そういえば。

前に語彙・読解力検定を受けた時、欄外に受検者アンケートがありました。

その中に「1か月に何冊の本を読みますか？」という質問があったんですよ。

ははは、あえて言おう！

1か月に読む本は、0冊であるとッ！

で、正直に0冊と回答したら、後日届いた結果通知に、

あなたの回答 0冊

合格者の標準 6冊以上

アンケートの回答って、結果に載るのかあああ！

しかも、合格者の標準と並べるとか、ある意味で羞恥プレイだろ！

他にも「新聞を読む頻度⇒ほとんど読まない」、「新聞を読む時間⇒5分未満」等々、正直に回答したデータがすべて印刷され、残念な結果シートが届いたというお話です。

……………。

合否には影響ないって書いてあったから正直に答えたのに……………。

おまけに、今後のアドバイス欄に、「もっと新聞を読みましょう」とか、「読書量を増やしましょう」とか書いてあって、アンケート結果が反映されているっぽい内容でした。

というわけで。

次受けた時もアンケートがあれば、もっと見栄を張ろうと思います。

1か月の読書は100冊と答えて、それはさすがに嘘だろ、みたいな。

とにかくいずれにせよ、年に二回しかないので、一度で合格できるように頑張ります！

この場を書くのも今さらですが、自分の作品を他人に読んでもらうことって、ものすごく大事だと痛感しました。

なんか、もうね。

評価シートと、まったく違う。

もちろん評価シートは嬉しいんですが、でもやっぱり紙の限界を感じます。

コメントがない選評の場合、どうしてBやCなのか、自分で想像するしかありません。  
コメントがある場合も、自分の知りたかったことが、そこに書いてあるとは限りません。

それと違って、知人に読んでもらう場合は、「ここが気になっているけど、読者の視点でどう見えるか」等、こちら側から質問することができますもんね。

あと、感想に不明な点があれば、「これはこういう意味？」と確認できるし。  
作品を掘り下げる上で、そういう双方向のやり取りができるのは、ものすごい強みだと。

5年も投稿しておいて今さらですが、もっと前から、早めにやっておけばよかったです。

ちなみに、今まで公開をためらっていた理由は、単純に「つまらない」と言われるのが怖いから。

でも、自分がショックを受けることで、作品のクオリティを上げられるなら、喜んでショックを受けようじゃないの、と。

そういう考えに変わったので、今執筆している途中の作品も、人目に触れることを前提に頑張って仕上げます！

とりあえず、落選してテンションだだ下がりの可能性が大きいので、電撃1次発表の7月10日までに完成させようと思います。

語彙・読解力検定の公式テキストを読んでいたら、新聞語彙（文化編）のキーワードに、「ライトノベル」という単語が出てきました。

あの一？

わたくし、言葉をおさえるどころか、書いて投稿しているんですが？

締切りや発表日はもちろん、編集長の名前、祭りがどの程度の規模か。

マークシートはもちろん、記述式でも、いや、面接されても答えられますッ！

そして、その下には「ご当地キャラ」というキーワードが。

はっはっは！

くまモンファンブックを持っている自分に死角はない！

というか、その2問が出題されたら、大合格まちがいなし。

他は難しい単語ばかりなのに、その2つだけ異様に身近だったので、勉強中に変なテンションになりました。

あと、語彙・読解力検定のテキストって、表紙がホログラム入り？ なのか、やけにキラキラしているんですが……。

なんかこう、ずっと持っている、魔法少女に変身できそうな。

「変わるわよ！」みたいな。

あるいは、「お仕置きよ！」みたいな。

まあそれはともかく、「ラノベ」と「ゆるキャラ」以外は普通に難しいので、あまり日もないですが勉強を頑張ろうと思います。

自分の作品を他人に読んでもらうのは、生きた感想がもらえるという点で有意義ですが、もう一つものすごく大事だと思うことがあります。

それは、自分の文章に対して、責任感が芽生えること。

評価シートも確かに感想の一つではあるんですが、先方がどういう人物かまったくわからないし、手にするまでにタイムラグもあるので、あまり「読まれている」という感覚が生まれません。

それと違って、普段やり取りしている人に読まれるのは、ドキドキです。

自分の作品を読んでもらうってことは、内面を丸々さらけ出す行為でもあるし、その後「こういう人なんだ」と思われることになるから、あまり変な作品は見せられないというか……。

そう思うと、恥ずかしくない作品を書こうという意識が、大幅にアップ。

いい加減な知ったか振りを書き散らしたり、ウケるかどうかわからないギャグを入れたり、そういう行為を慎もうという気持ちが芽生えます。

その意識があるかどうかで、作品のクオリティって、相当違ってくるような気が。

つまり作品の読み合いは、感想をもらった後ではなく、感想をもらう前から非常に有効だと思うわけです。

本当に、今さらすぎる主張なんですが、「読まれる意識」って大切ですよね。

もちろん最初からあれば問題ないのですが、自分は今までなかったので、今手に入れられて良かったと思います。

書いてあれば読めるけど、自分では書けない漢字って、意外と多いものですよ。

それと似たようなことが、語彙に対しても言えると、語彙・読解力検定のテキストに書いてありました。

見聞きして意味のわかる言葉が、「理解語彙」。

その中でも、自分で使うことのできる言葉が、「使用語彙」。

つまり「理解語彙 > 使用語彙」という状況で、その差を可能な限り埋めていくことが、語彙の勉強では重要なんだと。

それを読んで、なるほどなーと思いました。

確かに普段の生活で、「この人、語彙が豊富すごい」と思う場合って、自分も知っている言葉を的確に使っていて「おお！」と感じる瞬間ですよ。

逆に知らない言葉を使われると、「何それ？」とか、「そんな難しい言葉、普通は使わないし」とか、マイナス感情の方が先に立ってしまうというか。

なので文章を書く上で、「この作者は語彙が豊富」と思ってもらうためには、やたらと難しい単語を使いまくるのではなく、「誰もが知っている簡単な表現で、でもなかなか思い付かない」言葉を使うのがいいんじゃないかと。

まあ、それがすぐにできれば、こんなに苦労はしないんですが……。

とにかく、むやみに難しい単語を覚えるよりも、自分で使える表現の幅を広げる方が、より重要なことだと思います。

というわけで、あと二日しかありませんが、残りの勉強を頑張ろうと思います！

## 折り返し地点 - 2013.06.14 Fri

---

えんための発表は今日じゃないかと、ひそかに期待していたんですが、結局のところありませんでした。

去年は確か6月22日だったし、今年は21日で確定ですかね？

今から努力はできませんが、心して待とうと思います。

それはそうと、執筆中の作品がやっと60枚を越えて、ストーリーの折り返し地点に到達しました。

それにしても……。

40枚で折り返す予定だったのに、まさか20枚もオーバーするとは……。

こういう、予定枚数をオーバーした時って、ものすごく焦りませんか？

うわー、早く終わらせなきゃ！

でも、まだまだ言いたいことがあるし、ここで切るなんて絶対に無理！

↑ みたいな状態。

で、この状態が何かに似ているなーと思っていたんですが、今日わかりました。

「公衆電話を使用中に、後ろへ並ばれた時」の精神状態にそっくりです。

いや、本当に！

昭和生まれの方なら、わかりますよね！？（必死）

まあでも、ここから60枚書いても120枚で、上限枚数は越えないはずなので、このまま削らずに進めていこうと思います。

毎日ちょっとずつ頑張るぞー！

「身体の疲労」と書きたかった箇所が、「身体の披露」に変換されて、微妙なテンションになるの巻。

やだー。

身体の披露って露出狂じゃないですかー。

それはそうと、前回も書いた通り、執筆中の作品が半分の地点に到達しました。

執筆している最中は、「こんなドンガメ速度で大丈夫か」と焦っていたんですが、進み具合を見れば1か月で60枚書けているので、「あれ？それほど遅くもないじゃん」と。

理由を考えてみると、今回の作品は進むのが遅いけれど、書いた部分は基本的に消してないので、それで結果的にこうなった気がします。

自分は「〇枚書いた」とか「〇〇文字進んだ」とか、出来上がった量を見て安心感を得るタイプなので、普段は内容の吟味を後回しにして、ひたすら文章を書きまくるんです。

でも結局つじつまが合わなくて、5枚や10枚削ることになったり。

たくさん書きまくって、パワーを使っている割には、思うような作品に仕上がらない。

今回はその反省もあって、一文一文を吟味しながら書いているので、進むのがいつもよりも少し遅い分、満足度は高い内容に仕上がっています。

というわけで、早く披露できるように、残り半分を頑張ります！

これまでは勉強と並走でしたが、来週からはそれもなくなるので、きっと目に見えて早く進むはず。

とにかく、7月10日までに初稿を終わらせるよう、全力を尽くそうと思います。

検定が終わりました - 2013.06.16 Sun

---

土曜日に日本語検定1級を受けて、翌朝4時に起きてサッカー観戦。

そして日曜日に語彙・読解力検定を受けて、それから心齋橋で火鍋を食べるとい、珍しくアクティブな週末を過ごしました。



それにしても、語彙・読解力検定の1級、難しすぎだ……。

ああ、ちなみに。

「ライトノベル」と「ご当地キャラ」は、結局出題されませんでした。

あの検定は問題冊子を回収されてしまうので、今さら答え合わせをすることもできませんが、100%確実に落ちているだろうと思われます。

唯一正解した確信があるのは、「胃潰瘍などの原因となる胃粘膜に付着する細菌は？ ⇒ ピロリ菌」という問題だけです。

はっはっは！

胃の病気なら、任せてくれ！

……………。

ラノベと、ゆるキャラと、胃の病気が得意分野。

まあとにかく、11月にもあるので、今回落ちたら次回もまた受けようと思います。

よーし！

勉強も終わったし、もりもり書くぞー！

と意気込んでいたにも関わらず、途中で集中力が途切れてしまい、Amazon を徘徊して本日の執筆タイム終了。

ワイはホンマにあかん奴や……！

まあでも、焦って駄文をたくさん書いても、後で消すことになったら意味がないので、進まない日はそれでいいかなあーと。

カメの速度で、しかし常に前を向いて、着実にゴールを目指そうと思います。

さて、ここで問題です。

ドンガメを漢字で書くと、どうなると思いますか？

自分ではっきり「鈍亀＝動きが遅いカメ」だと思っていたんですが、大辞林によると「胴亀＝スッポンの異名」のことらしいです。

知らなかった！

鈍亀じゃないのか！

それにしても、のろまの代名詞になるなんて、スッポンが気の毒ですね。

「月とスッポン」なんていう、不名誉な言葉もありますし。

……とまあ、そんなカメのこぼれ話はともかく、明日以降は真面目に執筆に取り組もうと思います。

気合い入れて頑張るぞー！

気持ちよく執筆している最中に、日本語検定の答え合わせをして、激しくテンションが下がるの巻。

あかん……。  
不合格や……。

問題を回収されてモヤモヤするのもツライですが、問題を持ち帰って自分で答え合わせができるのも、それはそれでツライですね。

ってか、せっかく執筆が乗っていたのに、ホームページ見なきゃよかったー！

これ、いつも本当に思うんですが、文章ってある意味「気持ちそのもの」なので、気持ちが沈んでいる時は時間があっても書けないんですよ。

人との会話だって、ある意味そうです。

気分が明るい時は「あれもこれも伝えたい」って思うけど、気分が沈んでいる時は人って無口になるものです。

まあでも、今書いている作品は自分でも気に入っているので、頑張ります！

人に読んでもらって修正点を見つけたいという思いもありますが、自分が感じていることをたくさん詰め込んだ内容なので、この話を公開したらどんな感想がもらえるのか純粋に楽しみです。

それもこれも、完成させてのお楽しみ。

今週末（おそらく）のえんためを皮切りに、7月は怒涛の発表ラッシュなのですが、あまり振り回されすぎないように、真面目に執筆に取り組もうと思います。

そういえば、ふと思い出したんですが。

だいぶ前に友人からメールで相談を受けて、それに対して真剣に長い返事を送ったら、「感動して泣いた」と言ってもらった経験があります。

相手は嘘をつくような性格じゃなかったのだから、たぶん本当に感動して泣いたんだろうなあと。

それはリアル友達の話で、投稿とは完全に無関係ですが、ちょっと嬉しかったです。相手が悩んでいる状況なのに、喜んではいけませんが、それでも嬉しいと感じました。

涙というのは、感情が動いた、何よりの証です。文章によって、相手の心を動かすことが、自分にできたということです。

それならきっと、もう一度できる。

そう。  
今度はメールではなく、小説で。

読み手の顔は自分にはわからないけれど、真剣に想いを伝えれば、相手の心はきっと間違いなく動くはず。

そんな素晴らしい執筆という行為が、何の意味もない無価値なことだなんて、自分にはとうてい信じられません。

てやんでー！  
信じねーぜ、コノヤロー！

いい話をしている最中に、唐突に逆ギレ。  
とにかく、本気をたくさん詰め込んで、素敵な作品を生み出したいです！

お昼にビッグマックのセットを食べたら、ひどい胃もたれが襲来し、今日は夕ご飯が食べられませんでした。

無理な予感はしたけれど、やはり予想通り無理でした。

もうね。

自分の胃に説教したいですね。

この軟弱者め！

ビッグマックごときに手こずるとは何事だ！

そんなことでメガマックを消化できているのか！

それにしても、胃痛持ちの人って割と多くいると思うんですが、自分の周囲ではほとんど見かけないような気が。

何でだろう？

頭痛持ちの人や、腹痛持ちの人は、割と頻繁に見るのにな？

まあ胃痛持ちの人と出会ったからと言って、胃の話で盛り上がることはないと思いますが、健康な人にはどう痛いかわからないことが多いので、たまにちょっとだけ寂しくなります。

自分は吐く体質ではないので、ムカムカはしないんですが。

消化に手こずって、ジクジクと、地味に痛むというか。

という、胃痛の話に終始しつつ、今日のブログは以上です。

もはや何ブログなのかわからない！

明日は真面目に投稿の話を書こうと思います。

## えんため 一次発表 - 2013.06.21 Fri

---

本日えんため大賞の1次発表があり、少年系と少女系で、それぞれ1次通過しておりました。

少年系のリストを開いた瞬間、上から3つ目に自分の名前があったので、「もしかして面白かった順？」と自惚れていたら、普通に作品タイトルの50音順だったという……（汗）

とにかく、やったー！

最近落選続きだったから、久しぶりの1次通過だー！

実は1本落ちましたけれど、その残念さよりも喜びの方がずっと大きいので、かなり浮かれた気分です。

だって、初めてよ？

投稿5年目にして、少女小説で通過したのは、今回が本当に初めて。

そして同時に、ファンタジー作品で通過したのも、今回が初体験。

なので、見込みがゼロではないとわかって、これまでの苦勞が報われた気分です。

これをキッカケに、「少女小説は無理」「ファンタジーは苦手」という、自分に対するマイナスの決めつけは、今後持たないようにしようと思います。

2次発表はいつも7月下旬なので、今年は26日が濃厚でしょうか？

1次通過が目標で投稿したけれど、通ったからには、2次選考も通過して欲しいです。

そして、ガールズの評価シートを貰いたいです。

というわけで、今日は以上です。

これを機に、今書いている作品も、ますます頑張ろうと思います！

かなり久し振りにツタヤへ行ったら、レジが完全にセルフ化されていて、貸出処理～会計までをすべて自分でおこなう形式に変わっていました。

わーい！

ひとりでできるもん！

で、ドキドキしながらセルフレジを使ってみて、帰宅してからDVDを開けようとしたら、防犯用のロックが外れていなかった件。

あきまへんがな。

というわけで、開かないケースを机に置いたまま、途方に暮れてブログを書いている次第です。

ちくしょう！

一人では出来なかった！

こうなったらもう、ケースを見ながら映画の内容を想像して、一人で泣いたり笑ったりするしか……（違）

もしくは、ケンシロウ並みに筋肉無双して、問答無用でロックを破壊（それも違）

でもまあ、唯一の救いなのは、借りたのが1週間の商品だったことですね。

今週中に店へ出向いて、事情を説明した上で、開けてもらおうと思います。

1泊2日の商品だったら、本当に冗談抜きで、見られないまま返すことになっていましたが……（汗）

そういうわけで、今日は以上です。

次に借りる時は、手順を間違えないように、本気で頑張ろうと思います。

すでに書けた部分を印刷して、蛍光マーカーで色分けしつつ、文章チェックする作業を継続中。

しかし、黄色はイカンですな。

主人公の台詞を黄色の蛍光マーカーで塗っていたら、目がチカチカして、黄色い線が目に焼きついた状態になってしまいました。

まぶしすぎてー 目を閉じてもー 浮かんでくるよー (『TRUE LOVE』 藤井フミヤ)

教訓。

黄色は無口なキャラクターに割り振るべし。

あと、主人公がいきなり女言葉で喋っていたので、「え!？」と思って前後をよく見たら、ヒロインの台詞に主人公の色を塗っていたという平凡なミス。

あるあるー。

よく声優さんのラジオなどを聞いていると、「他キャラの台詞にマーカーを塗ってしまい、本番で間違っ  
て読んでしまった」なんて聞きますが、「なるほど、こういうことなのか」と。

色分けはわかりやすいですが、塗る時には、注意が必要ということですね。

そして注意が必要といえ、ツタヤのロックを外さずに商品を持ち帰った常木らくは、人生にもっと注意が必要です。

こんなオイシイ失敗を隠してたまるか!

皆がウンザリするくらい、何度も繰り返し言うぜー!

というわけで、昨日の失敗談を再披露しつつ、今日は以上です。

オッス、オラ悟空！

厳しい修行を乗り越えて、オラは一段と強くなったぞ！

けどそのせいで、オラの戦闘能力が高くなりすぎて、ベジータのスカウターが壊れちゃったんだ！

オラ弁償してえから、今から言う銀行口座に、50万円送金してくんねえか？

来週までに、絶対に振り込んでくれよな！

↑『ドラゴンボールZ』の次回予告を装った振り込め詐欺。

こういう原作ありきの一発ネタは、どこで披露したらいいんでしょう。

投稿作では不可能ですしねー。

あと、最近「あるある本」が急増しているので、是非とも『ワナビあるある！』を発表したい今日この頃。

たとえば。

発表日に職場のトイレへ引きこもり、スマホで必死に更新チェックしていたら、「アイツは下痢だ」と同僚に噂された。

あるあるうー……え、ない？

こういうネタ集を書きたいんですが、ある程度まとまった量を書いて、パブーで出したらいいのかなあ。

もしくは、毎日このノリで進む、大喜利ブログに方向転換。

それはまあ冗談ですが、『投稿あるある』は、本当に書きたいですね。

時間ができたら取り組もうかなーと思います。

すでに何度も書いている通り、自分は現在投稿5年目なのですが、これだけ何年も続けていると知っている方がデビューしていくことが多いわけです。

素敵ですよ。

昔は他の投稿者さんのデビューを知るたびに、自分だけが取り残されたような言いようのない疎外感を覚えたものですが、今は純粋に嬉しい気持ちが湧き起こります。

嬉しい気持ちというか、優越感すら覚えますね。

「あの出版社も、ようやく〇〇さんの魅力に気付いたか！」みたいな。

だって、他人が夢を叶える瞬間を目の当たりにできるなんて、人生でそうそう何度も体験できることじゃないですよ？

それを何度も体験できるなんて、言ってみれば投稿者の集まりは、「夢の集まり」じゃないですか？

これが、素敵じゃなくて何なんだ！

そういうわけで、自分ももっと頑張ろうと、純粋に思いました。

最近「頑張ろう」という単語を多用していますが、本当にそう思います。

あと、夢につながる趣味って、ものすごく素敵だなーと。

自分は他にも、旅行やゲームやスケート観戦などの趣味を持っていますが、他の趣味は好きであっても直接夢につながるものではないので、執筆はそういう意味でも自分の中ですごく特別な位置付けです。

なので、これからも。

どれだけ執筆が大切か、このブログを通して、日々発信していきたいです。

今書いている作品が、101枚に到達しました。

101匹わんちゃんです。

わんちゃんの数だけ原稿があります。

あるいは、101回目のプロポーズでもいいですが、とにかく残すは最終エピソードのみとなりました。

今回はメインキャラの人数が5人という、自分にしては異例の多さだったので、主人公をどう書くかが悩みどころでした。

周囲に4人もキャラクターがいて、それぞれ個性を押し出していくと、どうしても主人公の存在が薄くなるというか……。

ただ、主人公が無個性になる状況は絶対にイヤで、そこは自分の中でどうしても譲れない部分なので、「この主人公だからこう行動するんだよ」という部分を、頑張って前面に押し出したつもりです。

あとは、基本的に一つの拠点内で進む話なので、舞台がちょっと単調かな？

それから、枚数を過剰に使いすぎで、話の展開スピードが遅いかも？

等々、色々と不安もありますが、まずは最後まで書き上げてみて、全体のバランスを見ようと思います。

何しろ、今まで60,000字程度の話を書いていたので、今回のように100,000字を越える作品を書くと、バランスがどうなるのかまったくわからないという……。

というか、100,000字も書いたのは、本気で今回が初めてです。

そんな未体験ゾーンを楽しみつつ(?)、残りの部分を頑張ろうと思います！

Galaxyからiモード携帯へ、退化を遂げた常木らくだ！

ドコモショップへ行って機種変更を申し出たら、窓口のお姉さんに怪訝な顔で、「スマホ、そんなに使いにくいですか？」と聞かれました。

いいえ、お姉さん。

そんなことはありません。

ただ自分はワナビであって、受賞計画が年単位で大幅に狂っている故に、スマホのパケホーダイ料金を支払うことが困難な状況なんです。

と説明するのは気まずいので、「ええ、まあ、どうも……」と曖昧にほほえみ、その場を何気なく切り抜けました。

っていうか、iPhoneあるから、Galaxyいらないしー？

はい。

まずはその無駄遣いをやめろ、って話ですね。

でも、親指だけでメールを打てるのは、正直ものすごくラクチンなので、むしろiモードに戻ってよかったです。

この流れで、次の機種変更では、PHSに退化しようかな。

その後ポケベルになり、電報の経過期間をへて、最終的に糸電話へ落ち着く。

その時は、窓口のお姉さんにどう説明したら……っていうか、糸電話には契約とかいらないじゃん！

そんな平凡なオチで締めつつ、今日のブログ記事は以上です。

ユアッシャー！！

という掛け声で気合いを入れたら、ケースを丸ごと破壊できそうなんですけど、その場合ブラックリスト入りは間違いないので、少し考えた末やめておくことにしました。

何の件かというのと、「ツタヤの防犯ロックを外さずにDVDを持ち帰った」という、先日の話の続きです。

それでまあ、事情を説明するために、一週間振りにお店へ行っただけですよ。

恥ずかしいな……。

ロック外さずに持ち帰ったって言ったら、「バカじゃねーの？」って思われるかな……。

けど、そういう羞恥プレイは、実を言うと好みです……ッ！

ええ。

ドMですが何か？

それでまあ、内心ちょっと興奮しつつ、お店のお姉さんに説明したわけですよ。

「この映画、ロック取らずに持ち帰ってしまったので、いったん返してもう一度借りていいですか？」と。

そしたら、そのお姉さんが超親切で、返却期限を無料で一週間延ばしてくれました（汗）

い、いいんですか！？

こっちの勝手なのに、何だか申しわけない……。

というわけで、冷たい視線を浴びようと思って出掛けたのに、普通にあたたかい気分になってしまいました。

ツタヤのお姉さん、ありがとうございました！

東急ハンズに行ったら、ポメラDM100の展示見本が置いてあって、すごく使いやすそうでした。

イイナー。  
ホシイナー。

ちなみに先月買ったポメラDM5は、キーボードのへにゃへにゃ感が気になって、もうまったく使っていません（汗）

やっぱり買うなら上位機種……だけど、DM100にあの金額を出すのなら、それより新しいパソコンが欲しい気も。

XPのサポートも来年で切れますからね。  
悩ましいところです。

一方、お蔵入りのポメラとは逆に、Kindleは大活躍しております。

Kindleは、いいですね。  
画面が見やすく、目が疲れないので、長時間の文章チェックに最適です。

あと横表示で改行位置が変わると、それだけで文章の印象がガラリと変わるので、誤字脱字がどんどん見つかってそういう部分でも役に立ちます。

7000円台でこんなに便利なら、予備にもう1台欲しいくらいだー！

と宣伝しつつ、Kindleを持っていながら電子書籍を1冊も買っていないという、異端ユーザー。

しかしまあ、文章チェックに便利なことは事実なので、この後の読み直しもKindleと一緒に頑張ろうと思います！

新説！

ノストラダムスの大予言は、すごく遠回しに、電撃1次祭りを指している！

だって、ほら。

7の月に起こる一大イベントで、人々を恐怖と混乱の渦に巻き込む出来事といえば、それ以外に考えられないじゃないですか？

7の月に【電撃大賞の1次発表があり、落選した常木らくだは】世界が滅亡する【ほどの悲しみを味わった】。

間違いない。

学会で発表できるレベルの大発見。

とまあ、前置きが長くなりましたが、今日で6月が終了ということで、毎週どこかで発表三昧の7月がやって来ます。

- ・電撃1次
- ・えんため2次
- ・えんためガールズ2次
- ・ビーンズ1次

7月確定の物だけでも、これだけあります。

そして来月上旬には、なろう1次もあります。

小説投稿のもどかしい点は、送り終わった後は努力できないという部分ですが、自分の作品達を信じて明るい結果を待とうと思います。

ノストラダムスの大予言なんて、この手で吹き飛ばしてみせるんだ！

そして執筆中の作品も、今月中に仕上がるよう、引き続き頑張ろうと思います！